

総代会

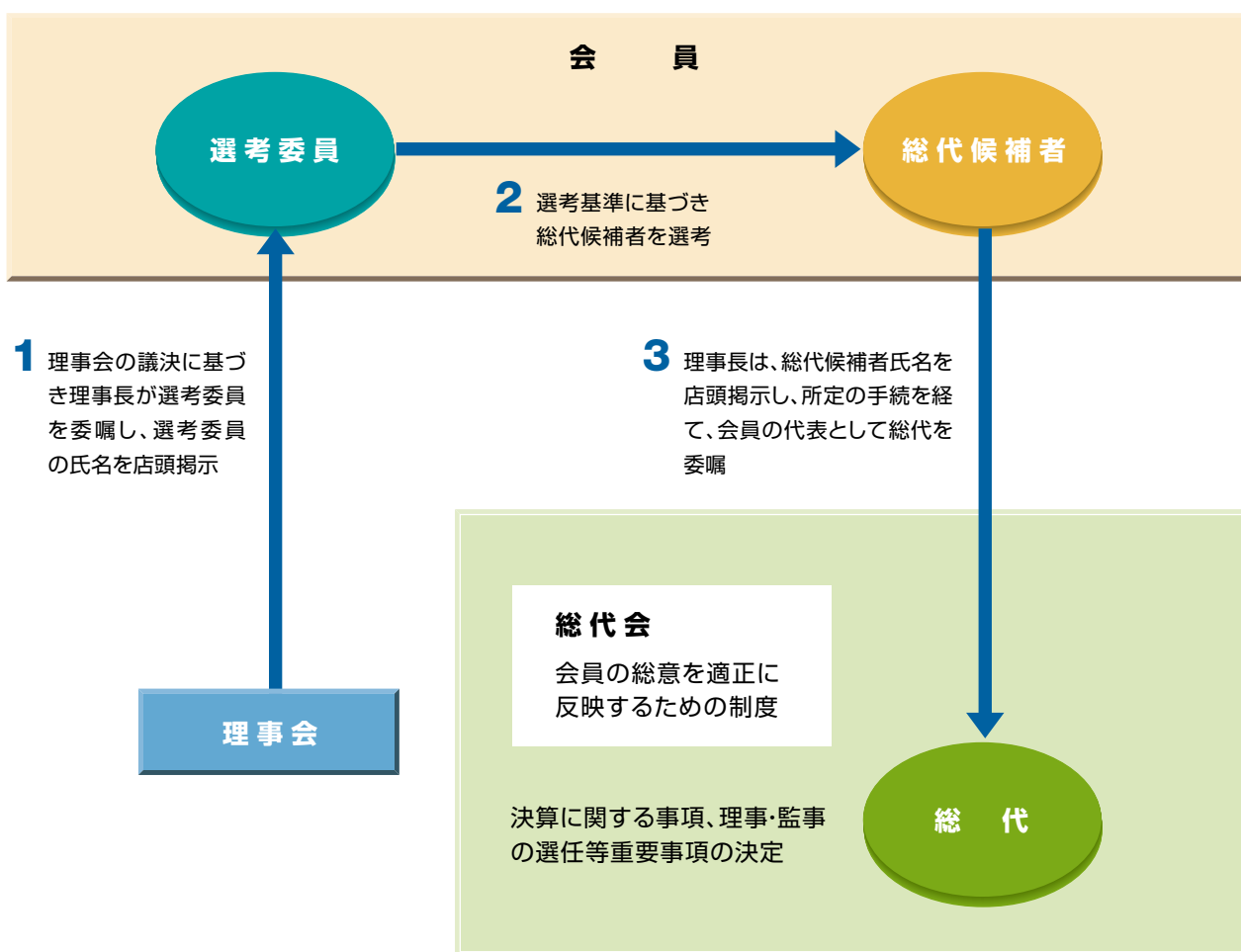
1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

【総代会は、会員1人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。】



2 総代とその選任方法

1. 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は、70人以上100人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
 なお、平成24年5月31日現在の総代数は82人で、会員数は10,724人です。

選任区域	会員数	総代数						
		法人	40才~49才	50才~59才	60才~69才	70才~79才	80才以上	合計
本店区	1,931	2		3	4	2		11
早津江区	709				1	4	1	6
神野区	785				5			5
西区	1,131			1	6	1	2	10
尼寺区	1,137			3	5	2		10
大崎区	955			1	4	1		6
高木瀬区	727	1			2	1	1	5
鳥栖区	715			1	4	1		6
天祐区	532			1	2	1		4
神埼区	625			1	3	2		6
北川副区	431			1	1	2		4
佐賀医大前区	472			1	1	2		4
古湯温泉区	271					2		2
開成区	303			1		2		3
合計	10,724	3	0	14	38	23	4	82

2. 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、総代候補者選考基準(右の表)に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。

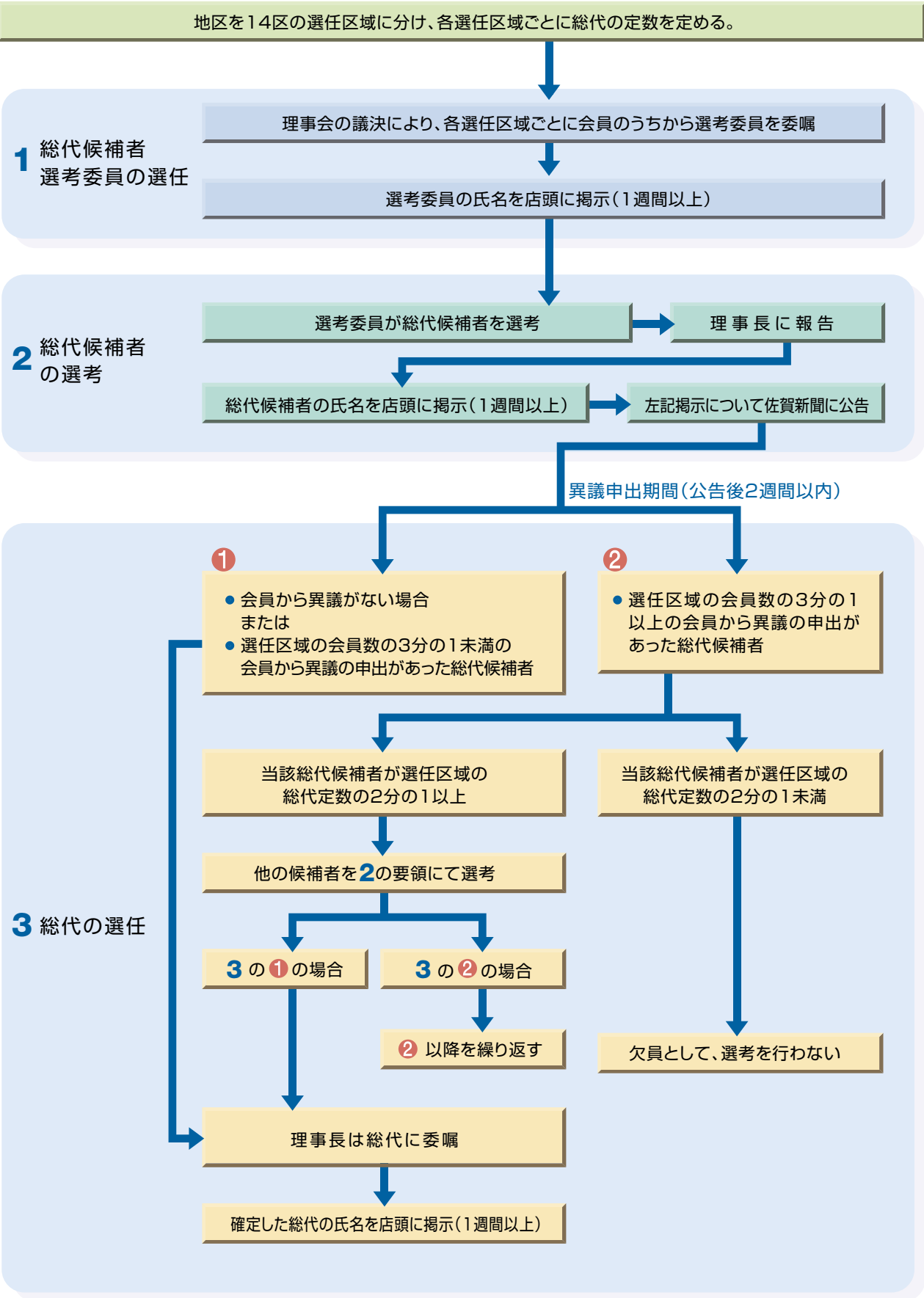
- 1 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- 2 その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- 3 その総代候補者を会員が信任する。
(異議があれば申し立てる)

総代候補者選考基準

- ① 資格要件
 - 1 | 当金庫の会員であること
- ② 適格要件
 - 1 | 総代として相応しい見識を有している人物であること。
 - 2 | 良識をもって正しい判断ができる人物であること。
 - 3 | 地域における信望が厚く、総代として相応しい人物であること。
 - 4 | 行動力があり、積極的な意見ができる人物であること。
 - 5 | 人格、見識に優れ、当金庫の発展に寄与できる人物であること。
 - 6 | 金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する人物であること。
 - 7 | 総代就任時において80歳未満であること。
但し、平成22年の総代選考より適用。

総代会

総代選任までのフロー図



3. 第63期通常総代会の決議事項

平成24年6月22日の第63期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり了承されました。

1 報告事項

第63期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容並びに会計監査人および監事会の計算書類監査結果報告の件

2 議案

- 第1号議案 ● 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 ● 会員除名の件
- 第3号議案 ● 定款一部変更の件
- 第4号議案 ● 任期満了に伴う役員選任の件
- 第5号議案 ● 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件



4. 総代の氏名

(敬称略)

選任区域	人数	氏名
本店区	11名	澁谷要 牟田一男 吉川笛浦 音成日佐男 小池正 中野恵文 西村純一 堤貞喜 大塚浩司 株式会社吉野商店 株式会社ミス
早津江区	6名	北村栄 古賀成行 梅崎弘之 前田繁 川崎勝博 松藤昭彦
神野区	5名	藤崎文也 早田俊治 御厨和博 古川佐千夫 北島修
西区	10名	芝原耕一 小野好輔 松尾英光 野田征行 内田洋男 田中重利 谷口茂 副島太郎 野口浩二 原田泰行
尼寺区	10名	古賀勝也 中島正則 香月利政 山口政紀 牧瀬勝将 嬉野隆廣 渡辺昭典 黒田雅人 池田博司 本村一
大崎区	6名	大石孝二 内田貞良 深町健次郎 秀島敏明 本田秋夫 田島広一
高木瀬区	5名	関本優 古賀直人 黒岩俊幸 大塚幸男 株式会社協和製作所
鳥栖区	6名	篠原祐享 吉本雅澄 毛利定俊 兼行研一 井寺計一 天本良光
天祐区	4名	小柳實 本村敏光 江副芳樹 手塚博明
神埼区	6名	重松敏央 増田博明 毛利久幸 野口光弘 船津光弘 吉岡俊裕
北川副区	4名	武藤軍司 原田勝昌 田淵保則 中原正博
佐賀医大前区	4名	川崎武文 徳永康次 一ノ瀬新次 市丸均
古湯温泉区	2名	鳥谷信明 山口雅久
開成区	3名	大坪利孝 副島康弘 千布清孝

平成24年5月31日現在

金庫の事業の運営に関する事項

リスク管理の体制

金融の自由化・国際化が進展するなか、金融機関の業務はますます多様化し、信用リスクをはじめとして、事務リスク、市場関連リスクなど、さまざまなリスクが経営に影響を及ぼすようになってきています。

当金庫におきましては、各種リスクを正しく認識・把握し、かつ、適切に管理することによって、経営基盤の確立と安定収益の確保を図ることを目的とし、リスク管理体制の構築に努めています。

1. 信用リスク

信用リスクとは、貸出先の業況悪化のため、貸出金の元本、利息などが当初の約束どおりに返済されなくなるリスクのことです。

当金庫では、資産の健全性を維持・向上させるために、「業務運営規程」に基づいた厳正な審査体制をとっています。一定金額以上の大口融資につきましては「融資審査会」により総合的な審査が実施されています。また、内部

研修の実施や外部研修への派遣を行うなど審査能力の向上に努めています。管理面におきましては、融資管理部による営業店指導を行うなど、不良債権の発生防止に努めています。自己査定については、営業店及び関連部署が自己査定を行った結果について、当該部署から独立した法務部資産査定課が監査を行う体制をとっています。

2. 市場関連リスク

金融機関は、金融の自由化・国際化の進展、デリバティブ取引の急速な拡大により、資産（貸出金、有価証券など）・負債（預金など）双方の金利変動に伴う「金利リスク」、株式や債券などの価格の変動をもたらす「価格変動リスク」などの市場関連リスクに常にさらされており、安定収益の確保のためには資産・負債の総合管理（ALM管理）が重要となってきています。

当金庫ではシミュレーションを行いながら経営計画をた

て、実績を月次ベースで管理することで収益のブレを小さくするようにしています。BPV法による金利リスク量の計測や、株価変動リスク、為替リスク、外貨金利リスク等の分析を行っています。また、ストレステストを実施し、リスクリミットの管理も行っております。

また、有価証券についてはVaR（バリューアットリスク）によるリスク量の把握も試験的に行っており市場関連リスクの高度化に向けた取り組みも行っております。

3. 流動性リスク

流動性リスクとは、市場流動性リスクと資金繰りリスクのことをいいます。

市場流動性リスクとは、市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクをいい、資金繰りリスクとは、当庫の財務内容の悪化等により必要な資金が確保できなくなり、資金繰りがつかなくなる

場合や、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、市場流動性の状況を適切に把握し対応するとともに、当金庫の資金調達・運用構造に即した適切かつ安定的な資金繰りを確保しております。

4. オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、内部プロセス、役職員の活動若しくはシステムが不適切であるもしくは機能しないこと、または、外生的な事象により生じる損失に係るリスクです。事務リスク、システムリスク、法務リスク、風評リスク等があります。

金融商品の多様化や機械化の進展に伴い、事故防止のため内部事務管理の整備に努めています。すなわち、事務取扱要領や事務処理マニュアルの随時改訂整備、各種勉強会の開催など職員一人ひとりの資質の向上を図って

います。営業店には自主検査を義務づけるとともに事務部による臨店事務指導、監査部による立ち入り検査を実施して事務リスクの未然防止や事故防止のための適切な指導管理を行っています。また、システム面におきましても万一の災害時においてもコンピュータシステムが安定稼動するようにバックアップシステムを確立しております。また、リスク管理関連規程の見直しを行い、法務リスクや風評リスク等さまざまなリスクに対して、組織として万全の対応ができるよう取り組んでおります。

法令遵守の体制

当金庫は、法令等遵守(コンプライアンス)を経営の最重要課題のひとつとして位置付け、社会的使命と責任を全うする金融機関として、地域社会の期待に応え、これまで以上の揺るぎない信頼を確立するために、次のとおり「佐賀信用金庫行動綱領」を定めております。

1. 信用金庫の社会的使命と公共性の自覚と責任を遂行します。
2. 質の高い金融等サービスの提供と地域社会発展へ貢献します。
3. 法令やルールを厳格に遵守し誠実かつ公正な業務運営を遂行します。
4. 地域社会とのコミュニケーションの充実を図ります。
5. 従業員の人権、個性を尊重するとともに安全で働きやすい環境を確保します。
6. 環境問題に積極的に取り組みます。
7. 社会貢献活動に積極的に取り組みます。
8. 反社会的勢力を断固として排除します。

当金庫におきましては、法令等遵守(コンプライアンス)体制強化のため、以下の諸施策を実施しております。

- (1) 法令遵守実施計画を年度ごとに策定しています。
 - (2) 「法令遵守の手引」を策定(毎年度見直し)し、全役職員に配布しています。
 - (3) 法令遵守にかかる統括部門として「法務部」を設置し、各店舗に「法令遵守統括責任者」及び「法令遵守担当者」の配置を行っています。
 - (4) 役員及び管理職を対象とした外部講師による研修、法令遵守担当者を対象とした研修、各店舗における毎月の勉強会等を実施し、コンプライアンス教育の強化を図っています。
 - (5) 監査部の監査項目に法令遵守に関する事項を盛り込み、法令遵守体制が適切に機能しているかチェックを行っています。
 - (6) 法令遵守違反があった場合は、すみやかに各店舗から事故・不祥事件等に係る報告を求め、それにもとづく適切な対策を講じ、再発防止に努めています。
- これらのほか、金融商品の販売等に関する法律にもとづき、「金融商品に係る勧誘方針」を策定・公表するとともに、適切な勧誘を行うよう徹底しています。
- 今後も、単なる法令遵守にとどまらず、役職員一人ひとりが、より一層高い規範意識が求められているという自覚をもって、さらなるコンプライアンスの徹底に努めていきます。

金融商品に係る勧誘方針

- 1 当金庫はお客様の資産運用目的、知識、経験及び財産の状況に照らして、適正な情報の提供と商品説明を行います。
- 2 金融商品の選択・購入は、お客様ご自身の判断によってお決め頂きます。その際、当金庫は、お客様に適正な判断をしていただくために、当該商品の重要事項について説明いたします。
- 3 当金庫は、誠実・公正な勧誘を心がけ、お客様に対して事実と異なる説明をしたり、誤解を招く事のないよう、研修等を通じて役職員の知識の向上に努めます。
- 4 当金庫は、お客様にとって不都合な時間や迷惑な場所での勧誘は行いません。
- 5 金融商品の販売等に係わる勧誘についてご意見やお気づきの点がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせ下さい。

金融ADR制度への対応

苦情処理措置

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレットで公表しています。

苦情は、当金庫営業日(9時～17時)に営業店(電話番号は59～60ページ参照)または法務部(電話:フリーダイヤル0120-895-530もしくは0952-22-2152)にお申し出ください。

紛争解決措置

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記法務部、全国しんきん相談所(9時～17時、電話:03-3517-5825)及び九州北部地区しんきん相談所(9時～17時、電話:092-281-5363)にお申し出があれば、東京弁護士会(電話:03-3581-0031)、第一東京弁護士会(電話:03-3595-8588)、第二東京弁護士会(電話:03-3581-2249)、天神弁護士センター(電話:092-741-3208)、北九州法律相談センター(電話:093-561-0360)、久留米センター(電話:0942-30-0144)の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。

なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都および福岡県以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。その際には、お客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会をご利用する方法もあります。例えば、東京以外の弁護士会において東京の弁護士会とテレビ会議システム等を用いる方法(現地調停)や、東京以外の弁護士会に案件を移す方法(移管調停)があります。ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ前記「東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫法務部」にお尋ねください。

苦情等への取組体制

